

過去の出題傾向について確認しておこう！

阪大入試研究[日本史]

▶ 出題一覧表

過去10年の大阪大学・文学部の入学試験(日本史)で出題された分野は、次のようになる(字数表記のないものはすべて「200字程度」と指定された論述問題、いずれの年度も総字数は800字程度)。

	(I)	(II)	(III)	(IV)
2016	6世紀における仏教の受容過程	鎌倉府の展開過程	「朱子学に対する批判」に関する儒学刷新の動向	明治維新後の沖縄県設置にいたる過程
2015	9・10世紀における日中間の交流	鎌倉時代後期における御家人の窮乏	参勤交代制の内容・影響・変遷	1937～1945 戦時経済統制の展開
2014	古墳時代における被葬者の性格の変化	中世 守護職権の変遷	太閤検地の内容と石高制の機能	明治時代前中期における地方制度の変遷
2013	政治都市平城京の構造	鎌倉時代の農業	幕末 開港が流通構造や物価に与えた影響	田中義一内閣期の外交・経済・治安政策
2012	5～10世紀における文字使用の歴史	足利義満による対朝廷・外交政策	17世紀におけるキリスト教政策の展開	明治時代前期における官営事業の展開
2011	7世紀中頃～9世紀初頭における蝦夷政策	戦国大名の領国経営	享保の改革と田沼政権がとった収入増加政策	戦前の日独関係
2010	嵯峨天皇期の官制改革・法的整備	室町時代における金融業・貨幣経済の発展と幕府の政策	江戸時代後期におけるロシアの接近と幕府の政策	明治時代における小学校教育の展開
2009	「倭の五王」の権力と支配の特質	執権政治と得宗専制	蘭学の発展と幕府の政策	1920年代の恐慌と政府の対応策・経済への影響
2008	国風文化の特徴とその歴史的背景	惣村の構成・運営・機能	幕藩制成立期における幕府と朝廷の関係	日英同盟の歴史
2007	古代・中世における日本の神と仏教	後三条天皇・白河天皇(上皇)の政治	幕藩体制下の農民支配	明治時代の社会問題と社会運動

▶ 分析と対策

阪大日本史のもつ特徴をあえて一言でまとめるならば、**基本的・標準的でオーソドックス**だと形容することができる。入試本番では毎年、小手先の戦術はもろくも吹き飛ばされ、力の差が鮮明になっている。この点のもつ重みを忘れずに、次の3点を心して学習を進めてほしい。

①**最新の教科書**を多角的に読解・分析し、日本史の**全体像を構造的に把握・理解**しようとする努力を最後までつづける。②**学習の過程で過去問(+阪大本番レベル模試)**を徹底的に研究していく作業を軌道に乗せ、論述問題との対峙・格闘を重ねる。③身につけた基礎学力・論述力を入試本番で十全に発揮するために、**充実したシミュレーション(答案練習)の場を常に求める**。